

商品コード：763-1452200

適合車種：グロム (2BJ) FNO,JC92-1000001~1099999 ※8BJ-JC92 使用不可

代表車種を記載しています。最新の適合情報についてはウェブサイトをご参照ください。適合は国内仕様車のみとなります。



当製品の取り付けには外装の脱着作業が必要です。
外装部品の脱着作業手順などは、サービスマニュアルに従って行ってください。



ユーザーオリジナルマップを作成するためには、オプションの PC インターフェイスケーブル(763-0500900)と Windows® 搭載パソコンが必要です。詳細は別項を参照してください。

Windows® は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

- この度はキタコ製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。取り付ける前に注意事項をお読みいただき、ご理解の上でご使用ください。
- 製品内容を必ずご確認ください。
- ホンダが発行するサービスマニュアルと併せて作業を行ってください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項 (必ずお読み下さい)



- このパーツは競技用部品であり、保証の対象外となります。
- 本製品の使用により、車両メーカーの保証規定に違反する可能性があります。
- 記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
- 本製品は完全防水ではありません。雨天時や洗車時に集中的に水がかかると浸水する可能性がありますので、雨などを回避できる場所に設置してください。
- 本製品は精密機器ですので、落下させたり強い衝撃を与えないようご注意ください。
- 本製品の電源は DC12V バッテリーを使用しています。バッテリーの劣化や電圧低下により、安定した動作ができない場合がありますので、バッテリーの状態を適宜確認し、必要に応じて交換してください。
- 本製品は HID や音響電装部品などの特殊な部品を同時に装着すると、ノイズや電圧降下により安定した動作ができない場合があります。
- 本製品を分解や改造しないでください。分解や改造を行った場合、保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用によって生じた付随的な損害、間接的な損害、および逸失利益などについては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 指示に従って正しく組み付けてください。記載以外の改造は破損や故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 組み付けミスやセッティング不良による事故やパーツの破損については、保証の対象外となります。
- 周辺部品の役割などが理解できない場合は、必ず専門店の担当者または当社にご相談ください。
- 仕様変更などにより、説明書の内容 (イラストや写真) と異なる場合があります。
- 製品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



- 出力特性の変化に伴い、各部の耐久性などが低下する可能性があります。そのため、通常よりも頻繁な点検整備が必要になります。
- 出力特性の変化に伴い、ノーマル車両状態の耐久性や燃費効率が損なわれます。
- 車両のコンディションや組み合わせパーツによっては、インジェクションコントローラー (i-Map) のプリセット燃調マップでは対応できない場合があります。その場合は必ず燃調セッティングを行ってください。
- 燃調セッティングにはシャシダイナモおよび空燃比を測定する設備が必要です。
- 必ず適切な燃調セッティングで走行してください。
- 本製品は精密機器です。振動の多い場所に設置すると本来の性能を発揮できないばかりか、最悪の場合には破損する可能性があります。装着する際には、できるだけ防振対策を施し、振動が伝わらないように設置してください。
- 配線は IG コイル・ハイテンションコードなどの近くに配置しないでください。近接配置することで誤動作の原因となる可能性がありますので、ご注意ください。
- ハーネスは、装着時にカバー類や他のパーツに挟まれて断線する可能性があるため、ご注意ください。



取扱説明書は専門的な知識を持った方を対象としています。技能や知識がない方、説明書の内容が理解できない方は作業を行わないでください。



十分な換気を行ってください。ガソリンは揮発性が高く身体に有害です。エンジンの始動は換気の良い場所で行ってください。



作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用するため、タバコなどの火気は厳禁です。



エンジンが作動中または作動後、シリンダーやクランクケース、マフラーなどが高温になっていますので、不用意に触れないようにしてください。



作業を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。未使用の配線には絶縁処理を行ってください。



お気付きの点や異常を発見した場合は、直ちに走行を停止し、当社までご連絡ください。

製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良が生じた場合は、同様の数量の新しい製品と交換、または無償修理を行います。ただし、それに伴う故障、破損、事故などの損害、およびパーツ代金や整備費用の代償はご容赦ください。

製品概要

当製品は、FI(フューエルインジェクション)車のチューニング時に使用する燃料噴射量を調整できるセッティングツールです。FI車のチューニングには必須のアイテムです。弊社チューニングパーツに合わせた推奨燃調マップが各種組み込まれています。

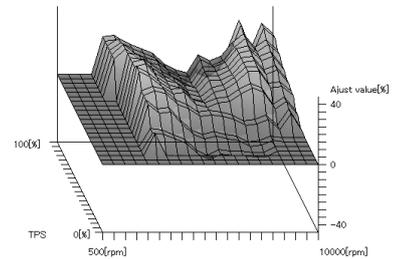
※プリセット燃調マップは、シャシダイナモおよび実走行によるテストで作成したデータであり、全ての環境条件をカバーするものではありません。同じ燃調マップを使用しても、走行条件、車両個体差、個人差（スロットルワークなど）によりフィーリングが異なる場合があります。

- 推奨燃調マップを簡単に DIP スイッチで切り替え

i-Map の DIP スイッチを切り替えることにより、弊社チューニングパーツ装着時の推奨燃調マップを選択することができます。



DIP スイッチ



3D 燃調マップ

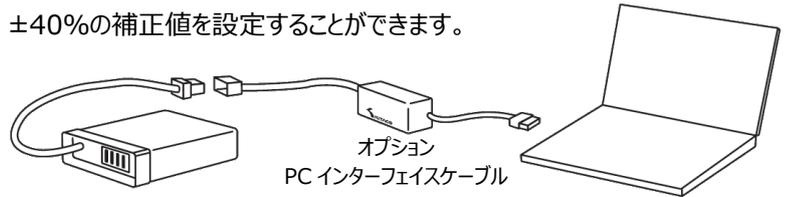
- 回転リミッター解除装置を搭載

※燃料噴射量を調整できる付随機能として搭載しており、高回転化を促進するようなチューニングを施さない限り、リミッター域まで回転数が上がらない場合があります。

※解除できるのは燃料噴射カットに伴うリミッターです。点火カットは解除できません。

- ユーザーオリジナルマップ領域を搭載

オプションの"PC インターフェイスケーブル(763-0500900)"をパソコンと接続し、"Fuel Manager"を使用することにより、回転数/アクセル開度毎にノーマルの燃料噴射量に対して、±40%の補正値を設定することができます。



オプション
PC インターフェイスケーブル

※Fuel Manager

i-map 専用燃調マップ読み書きソフトウェア。弊社 Web サイトからダウンロードできます。

※±40%補正値

回転数やアクセル開度によっては、ノーマルの噴射時間が長く、+40%まで増量できない場合があります。(インジェクタ保護のため"吹きっぱなし"にならないように制御を行っています。)

燃調マップ一覧

| MAP | エンジン仕様 | | DIP スイッチ | | | |
|-----|-------------------|----------------------|----------|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 1 | (補正無しマップ) | | - | - | - | - |
| 2 | UNI フィルター | | - | - | - | ● |
| 3 | ノーマルエアクリナー | ハイカムシャフト | - | - | ● | - |
| 4 | UNI フィルター | ハイカムシャフト | - | - | ● | ● |
| 5 | Φ34 スロットルボディ(UNI) | ハイカムシャフト | - | ● | - | - |
| 6 | ノーマルエアクリナー | 145cc ライトボアアップ | - | ● | - | ● |
| 7 | UNI フィルター | 145cc ライトボアアップ | - | ● | ● | - |
| 8 | ノーマルエアクリナー | 145cc ライトボアアップ(ハイカム) | - | ● | ● | ● |
| 9 | UNI フィルター | 145cc ライトボアアップ(ハイカム) | ● | - | - | - |
| 10 | Φ34 スロットルボディ(UNI) | 145cc ライトボアアップ(ハイカム) | ● | - | - | ● |
| 11 | ユーザーオリジナルマップ領域 | | ● | ● | ● | ● |

“●”の箇所の DIP スイッチを ON にします。

※MAP1 を除き、株式会社オーヴァーレーシングプロジェクト製 GP-PERFORMANCE フルチタンマフラーでセッティングを行っています。



※プリセット燃調マップは、シャシダイナモおよび実走行によるテストで作成したデータであり、全ての環境条件をカバーするものではありません。同じ燃調マップを使用しても、走行条件、車両個体差、個人差（スロットルワークなど）によりフィーリングが異なる場合があります。必ず空燃比を測定し、適切な燃調セッティングで走行してください。

エンジンコントロールユニット(ECM)初期化

- 製品を装着する前にエンジンコントロールユニット(ECM)の初期化作業が必要です。

⚠ 必ず製品の装着前に作業を行ってください。

初期化作業にはサービスチェック(SCS)ショートカプラが必要です。

キタコ製品： サービスコネクタ SET
商品コード： 764-9011200

またはホンダ純正品番： 070MZ-0010300



- ECM に故障診断コード(DTC)が保存されている状態では、ECM 初期化作業およびスロットル開度センサーリセット作業が行えません。DTC の確認を行い、もし保存されている場合は DTC の消去を行います。

故障診断コード(DTC)の確認/消去

- メインキーオフ状態で、シート下右側にあるサービスチェックカプラをダミーカプラから取り外します。



- サービスチェックカプラに SCS ショートカプラを接続します。
- キルスイッチが“”の状態メインキーをオンにします。

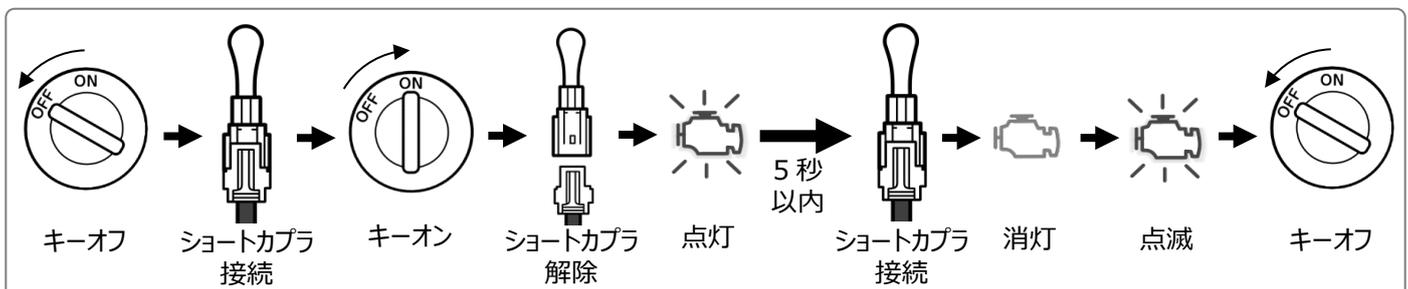


i ECM に故障診断コード(DTC)が保存されている場合は、PGM-FI 警告灯が 0.3 秒間点灯後、点滅を開始します。(診断コードの詳細はサービスマニュアルを参照してください。)
PGM-FI 警告灯が点灯したままの場合は、DTC は保存されていません。

- サービスチェックカプラから SCS ショートカプラを取り外します。
- PGM-FI 警告灯が 5 秒間点灯している間に SCS ショートカプラを再度接続します。

i PGM-FI 警告灯が消灯後、点滅を開始します。
消灯後点滅が始まれば、DTC が消去されています。

- メインキーをオフにします。



エンジンコントロールユニット(ECM)初期化手順

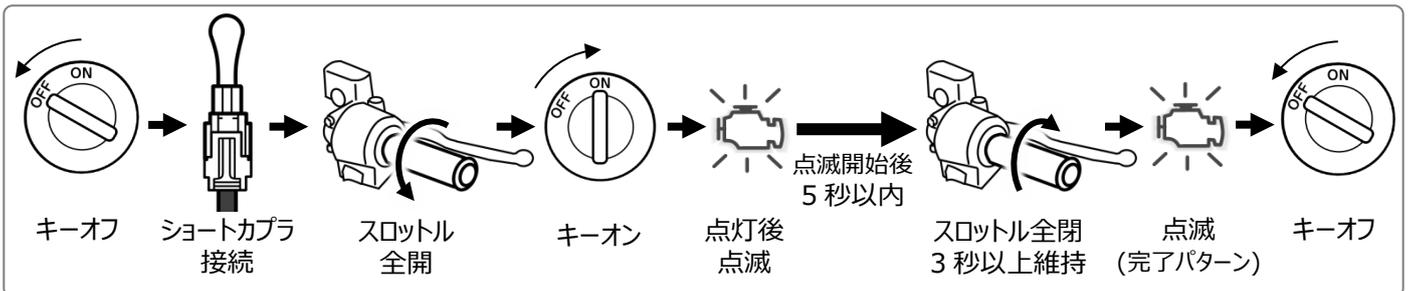
- メインキーオフ状態で、シート下右側にあるサービスチェックカプラをダミーカプラから取り外します。
- サービスチェックカプラに SCS ショートカプラを接続します。
- スロットルを完全に開けた状態にし、その状態を維持してください。
- キルスイッチが“”の状態メインキーをオンにします。

i PGM-FI 警告灯が点灯後、短く速い点滅を開始します。

- PGM-FI 警告灯の点滅開始後、5 秒以内にスロットルを閉じ、その状態を 3 秒以上維持してください。

i PGM-FI 警告灯が長い間隔で点滅し、1 回繰り返されます。(完了パターン)

- メインキーをオフにします。



スロットル開度センサのリセット手順

i この手順はスロットルボディを交換した場合に行います。

- メインキーオフ状態で、シート下右側にあるサービスチェックカプラをダミーカプラから取り外します。
- サービスチェックカプラに SCS ショートカプラを接続します。
- 油温(EOT)センサカプラを取り外します。



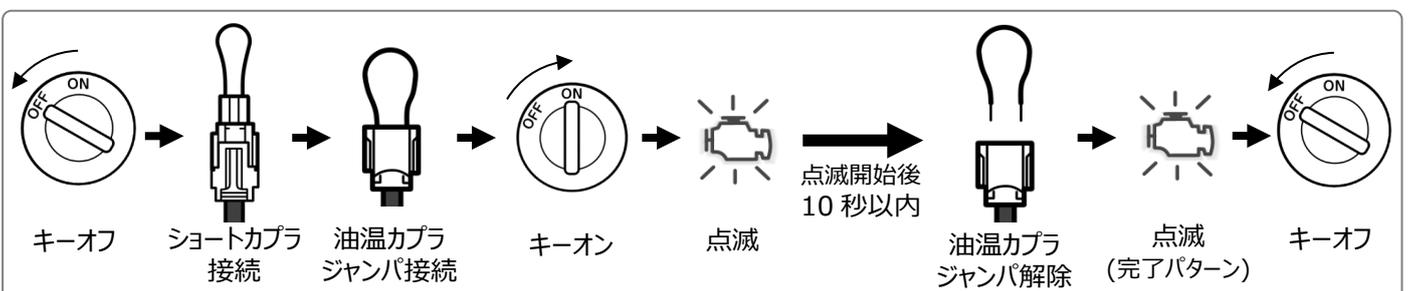
- サービスコネクタ SET に付属のジャンパハーネスを油温(EOT)センサカプラに接続します。
- キルスイッチが“”の状態メインキーをオンにします。

i PGM-FI 警告灯が点滅を開始します。

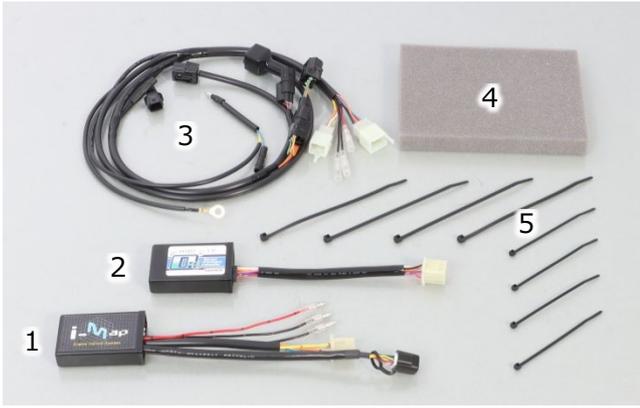
- PGM-FI 警告灯の点滅開始後、10 秒位内にジャンパハーネスの接続を外します。

i PGM-FI 警告灯が先程より短い間隔で点滅を開始します。(リセット完了パターン)

- メインキーをオフにします。



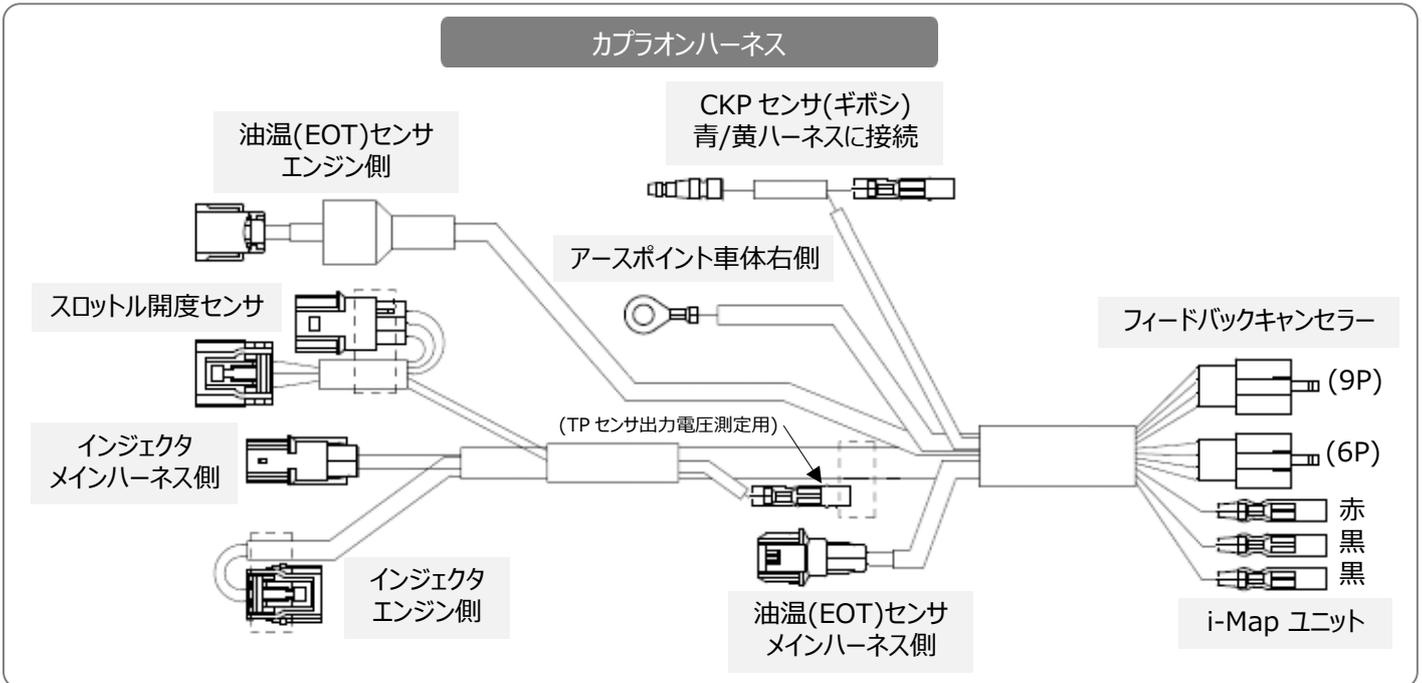
製品内容



| | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | i-Map ユニット | x 1 |
| 2 | フィードバックキャンセラーユニット | x 1 |
| 3 | カプラオンハーネス | x 1 |
| 4 | ウレタンスポンジ | x 1 |
| 5 | 結束バンド | x 8 |

取り付け

- コネクタなどへの割り込み接続を行います。このためには、外装の取り外しやその他の作業が必要です。
- 外装部品の脱着作業手順については、サービスマニュアルに従って行ってください。
- 取り付けの際は必ず締め付けトルクを確認してください。
- 仕様変更などにより、説明書の内容（イラストや写真）と異なる場合があります。



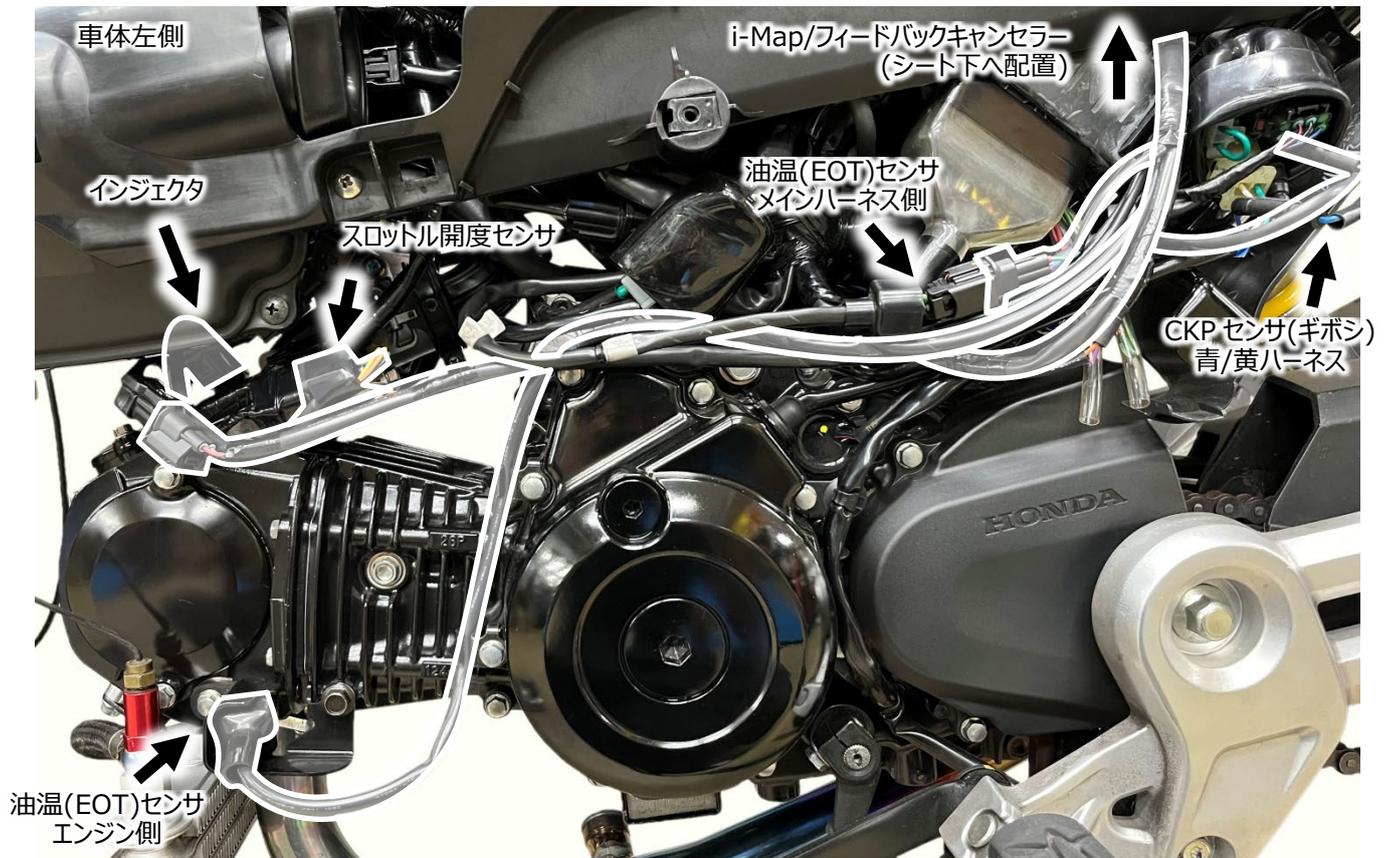
- 各種コネクタの接続先が正しいか、よく確認してください。
- ⚠ 同じ形状のコネクタが別の場所や別のセンサに使用されている可能性があります。接続先を誤ると破損します。
- ハーネスに負担をかけないように取り回し、他のパーツとの干渉に気を付けて配置してください。
- コネクタを接続する際は必ず真っ直ぐ挿入してください。斜めから無理に挿入すると内部のピンが変形破損する恐れがあります。



i 社外品の油温計(ノーマルセンサ使用タイプ)を取り付ける場合の注意事項
他社製品の油温計の割り込みコネクタは「エンジン側」に接続してください。ただし、両製品ともに動作の保証はできません。

取り付け

- メインスイッチをオフにしてください。また、作業を進める際にはバッテリーのマイナス (-) ターミナルを外してください。
- 図を参考にして、カプラーハーネスを適切な位置に配置し、各センサや装置に割り込み接続してください。
- 油温(EOT)センサノーマルハーネスは、元の配置から後方に位置を変更します。



- 車体の右側にカプラーハーネスのアース端子を配置し、フランジボルトで締め付けます。



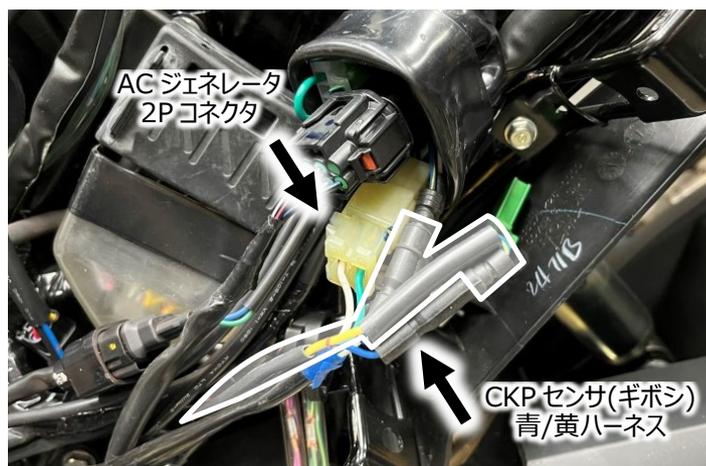
取り付け

- CKP センサ(ギボシ)青/黄ハーネスに割り込み接続します。

青/黄ハーネス



- ⚠ 同じコネクタブーツ内にギボシ黄/白ハーネスがありますので、接続を誤らないように十分に注意してください。



- i-Map ユニット/フィードバックキャンセラーをシート下へ配置します。

- ⚠ 本体を設置する際は、付属のスポンジを巻き付けて保護してください。



- 結束バンドを使用して、ハーネスが垂れ下がらないように固定してください。
- バッテリーターミナル、外装部品を元に戻します。

- ⚠ 設置が完了したら、再度各種コネクタの接続先が正しいことを十分に確認してください。
同じ形状のコネクタが別の場所や別のセンサに使用されている可能性がありますので、接続先を誤ると破損します。